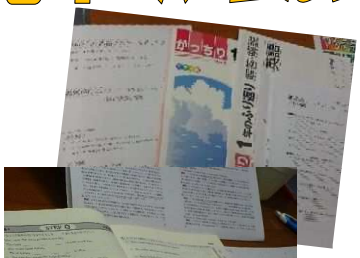
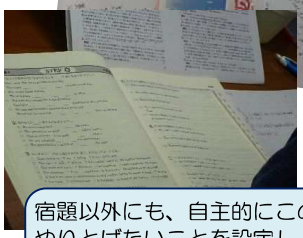
やる気発生装置

教室通信 Vol.７７６
Ｈ２８．７．２２
個別指導教室
セカンド・キャンパス
０７５－７１１－０３９９
http://www.second-campus.com/

みなぎるやる気を実力に…暗記系攻略法

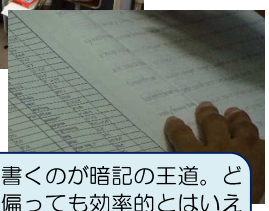
きのうの当塾は、高校生の姿が目立っていました。部活があるから…なんて言ってもいられなくなった高３生たちはもちろん頑張ってくれているんですが、１・２年生のなかにもだんだん受験への意識がでてきたようです。学校で渡された宿題や補講テキストに加えて、自分で何か問題集や演習をやりたい、と言ってくる人が結構いるんです。夏休み序盤のいまは、たいてい学校の宿題を仕上げることしか見えていない時期ですので、これは感心です。とくに高２の夏は、どのレベルの大学受験に挑めるかを決定するといってもいい時。今みなぎっているやる気を大切に、全力でやりましょう。本日は、あまり代わり映えしませんが、これらの勉強のやり方について再確認をしておきます。





宿題以外にも、自主的にこの夏やりとげたいことを設定し、動き出している人が続出しています。やはり受験生ですね！

まず、夏休みにわりと大きなウエイトを占めるのが暗記系の学習。単語帳、例文集、即ゼミ（文法問題がひたすら並んでいる物）と戦っている人がだいぶいます。中学生だと社会や英単語のプリントがこれに当たります。これらを効率的に学習するためには、「覚えること」と「書くこと」のバランスが大切です。単語帳１ページずつとか１０問ずつとか、適量を決めて答えをしっかり見て頭に入れる。そして答えを見ずに、いま覚えたことを紙に書いて再現するんです。覚えたかどうかはっきりと確認すること、きっとあるはずの穴を見つけることが「書くこと」の効用です。単語帳を眺めているだけの人は「書くこと」を、ひたすら書き写してばかりの人は「覚えること」を意識的に組み込んでいくと良いです。暗記用に何度も書くのは手近な計算用紙で…とつい考えますが、あえて暗記用ノートを作るのもいいですよ。これが蓄積していくと、やったことが実感できます。



覚えて書くのが暗記の王道。どちらに偏っても効率的とはいえない。専用ノートを作るのも効果がありますよ。

英文法や数学ＩＡなどの各単元を一通り学習し終えた高校生は、実戦的な演習を少しずつ取り入れていきましょう。私大の入試問題やマーク模試などを、実際の試験と同条件で一通り解いてみるんです。これで得られるのは経験値と、現時点での結果が数字で出ること。いま合格点にはるか届かなくても、それがだんだん合格圏へ近づいていくプロセスを味わって下さい。これが受験への道筋を支えてくれるはずです。もちろん、解いたあとで解答を見て再チェックするところが力をつけるポイントです。くれぐれも解きっぱなしにはならないようにね。

当面の教室予定

7/22(金)～7/23(土)
１０：００～１２：００
１６：００～２２：００
7/24(日)
お休みです m(_ _)m
7/25(月)
１７：００～２２：００
7/26(火)～7/28(木)
１０：００～１２：００
１６：００～２２：００
※夏休み中、部活や学校行事等に伴い、変更する場合が通常より多くなります。お知らせにご注意願います。